

広島を見る， 広島から見る

— 酒， 神楽， スポーツ， 移民， 文学， 言葉 —

若者の間でブームとなっている広島神楽，日本三大銘醸地の西条，16年ぶりにAクラス入りをしたカーブ，二連覇を果たしたサンフレッチェ，そしてスタジアム，「移民県」としての広島，広島・ヒロシマをめぐる文学，言葉。全6回の講座を通じて，受講者の皆さんと「複数の広島」像を共有できればと思っています。より豊かな「広島」像を描き，広島を見つめることをとおして，地域と世界を見つめ，考え，行動する足場を組むことができれば—そんな願いを込めて本講座を開催いたします。奮ってご参加ください。

- 日 時：平成 26 年 5 月 24 日～7 月 5 日（6 月 14 日を除く）（土）10:30～12:00
- 会 場：広島県立図書館 会議室（広島市中区千田町 3 丁目 7-47 広島県情報プラザ）
- 内 容：

日 程	テ ー マ	講 師
5 月 24 日	広島が多言語状況と言語景観	県立広島大学人間文化学部准教授 小川 俊輔
5 月 31 日	「ひろしま神楽」を資源とした地域 振興の可能性	県立広島大学経営情報学部准教授 和田 崇
6 月 7 日	お酒で楽しむ広島	県立広島大学人間文化学部教授 酒川 茂
6 月 21 日	広島とスポーツ —スポーツを活用した街づくり—	広島経済大学経済学部教授 永田 靖
6 月 28 日	広島と児童文学 —雑誌メディアに集う作家たち—	広島経済大学経済学部教授 武藤 清吾
7 月 5 日	広島と移民	広島経済大学経済学部教授 田中 泉

- 受 講 料：無料
- 募集人数：35 名
- 対 象：どなたでも（原則として全 6 回参加できる方）
- 申込方法：往復はがきで，往信面の裏に，①郵便番号，②住所，③名前，④ふりがな，⑤電話番号を，返信面の表に受講される方の郵便番号，住所，名前（「〇〇様」）をご記入の上，平成 26 年 5 月 8 日（木）（消印有効）までに下の申込先にお送りください。申込多数の場合は抽選となります。受講の可否は申込締切日以降に返信はがきでお知らせします。

※申込にあたってお寄せいただいた個人情報は県立広島大学公開講座のご案内以外の目的には使用しません。

- 申込・問合せ：〒734-8558 広島市南区宇品東 1-1-71
 県立広島大学地域連携センター「県立図書館連携講座」係
 電話（082）251-9534（平日 9:00～18:00）
- 主 催：県立広島大学地域連携センター，広島県立図書館

講座内容

第1回 広島が多言語状況と言語景観

県立広島大学人間文化学部 准教授 小川 俊輔

現在、日本では多言語化が進んでいます。広島の街でも外国人の姿を目にする機会が増えてきました。このことが日本語に与える影響について、主に街で目にする看板や標識の変化から考えてみたいと思います。

第2回 「ひろしま神楽」を資源とした地域振興の可能性

県立広島大学経営情報学部 准教授 和田 崇

「ひろしま神楽」は保存・継承すべき地域伝統芸能なのか？ それとも活用すべき観光資源なのか？ 近年、改めて注目されている「ひろしま神楽」の継承・発展、それを資源とした地域振興の可能性と課題について考えます。

第3回 お酒で楽しむ広島

県立広島大学人間文化学部 教授 酒川 茂

酒どころ広島も全国的な傾向と同じく、生産量は減少してきましたが、お酒のおいしさを追求し、新しい味覚として発信している多くの蔵元さんがいます。お酒は飲んで楽しむだけでなく、酒蔵を見つけて、聞いて、ふれて、利いて、楽しむこともできます。酒蔵ツーリズムとも呼ばれる新しい楽しみ方を、広島を事例に考えてみましょう。

第4回 広島とスポーツスポーツを活用した街づくりー

広島経済大学経済学部 教授 永田 靖

広島は地方都市でありながら、多くのトップスポーツの拠点が集まっています。また、スポーツは平和のシンボルであり、広島には重要な使命があります。スポーツをコンテンツに街づくりに活かす手法を国内外の事例から検証します。

第5回 広島と児童文学ー雑誌メディアに集う作家たちー

広島経済大学経済学部 教授 武藤 清吾

広島は、子どものための雑誌メディアと深い関係のある地です。『赤い鳥』を創刊した鈴木三重吉も、『きんのすず』を始めた教師たちの多くも広島出身でした。講座では、これらメディアに集いながら児童文学を書きついできた作家の思いを考えてみます。

第6回 広島と移民

広島経済大学経済学部 教授 田中 泉

広島県は、明治時代中期から大正時代にかけて、ハワイ、アメリカ西海岸、ブラジルなどに多くの移民を輩出した移民県です。講座では、おもにハワイへの移民の実態を紹介するとともに広島からの移民輩出の背景を考察します。